

令和4年度榛東南部こども園自己評価結果



1 教育・保育目標

元気な子 / 心豊かな子 / 考えられる子

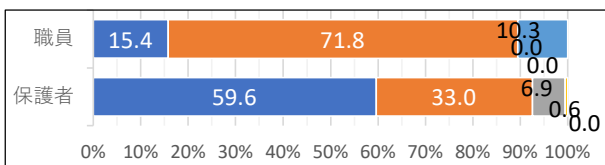
2 今年度の重点

- ◎11月18日に予定されている榛東村人権教育公開保育に向けて、園内研修を着実にを行い、子どもたちが主体的で生き生きとした活動ができるよう保育の質を向上させるとともに、職員の力量アップを図る。
- ◎日常の感染症対策を徹底するとともに、園行事等の見直しを行い、安全安心な園の運営を行う。
- ◎経産省の省エネルギー化推進事業に応募し、古くなった空調機器を省エネのものに更新するとともに、園児・職員ともに過ごしやすい環境を作る。

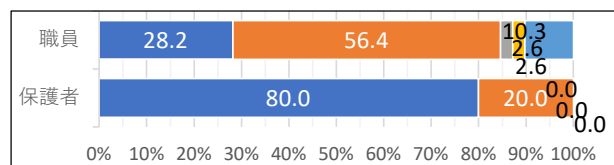
3 榛東南部こども園の教育・保育に関する保護者及び職員アンケート結果

■ そう思う ■ ほぼそう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない ■ わからない

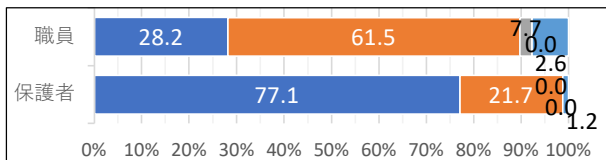
2-(1) あなたのお子さんは、喜んで園に登園していますか。



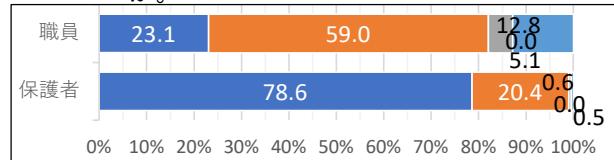
2-(2) 園では、子どもたちが友達と一緒に遊び、刺激を受けながら共に過ごす楽しさを味わう保育を行っていると思いますか。



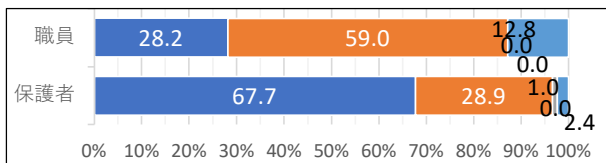
2-(3) 園では、子どもたちが遊びや集団生活に必要なきまりを知り、守ろうとする態度を育てようとしていますか。



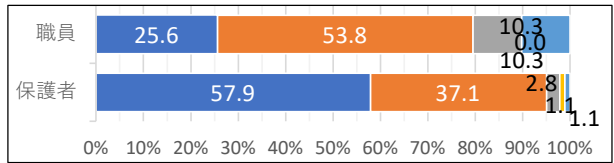
2-(4) 園では、子どもたちが様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などを育てようとしていると思いますか。



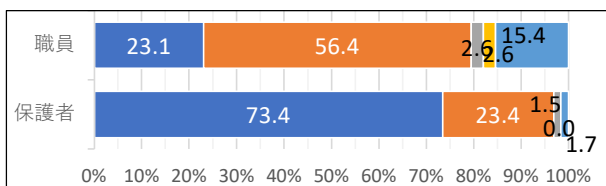
2-(5) 園では、子どもたちに思いやりの気持ちや我慢するなどを育てる保育をしていると思いますか。



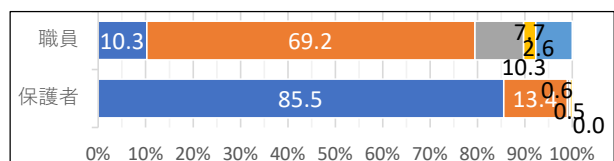
2-(6) 園では、子どもたちに自分からあいさつができるよう保育をしていると思いますか。



2-(7) 園では、命や自然を大切にする心を育てる保育をしていると思いますか。

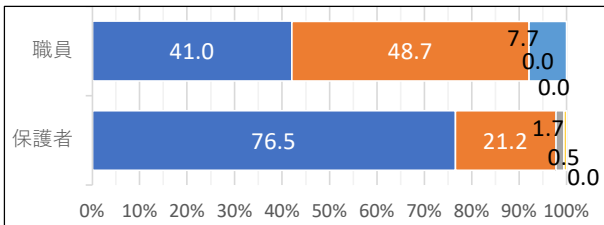


2-(8) 園では、子どもたちが進んで身体を動かし、体力が向上するような保育をしていると思いますか。

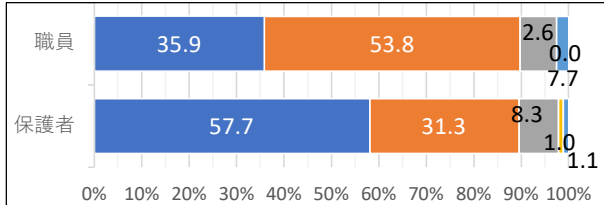


3-(1) あなたのお子さんは、園の行事に喜んで参加していると思いますか。

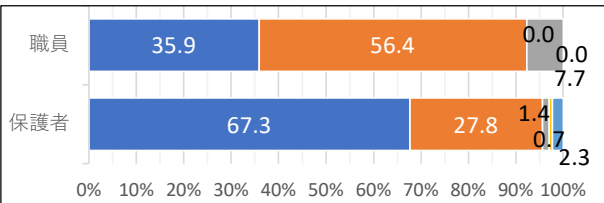
3-(2) 園行事は新型コロナウイルスの影響で縮小や削減を余儀なくされましたが、その中でも工夫して実施していたと思いますか。



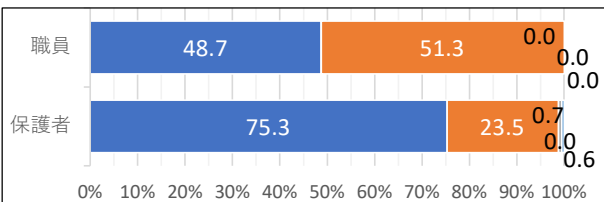
3-(3) 今年度は新型コロナの影響で小学校や地域との連携が十分に行えませんでした。新型コロナが収束したら連携の機会を多くして欲しいと思いますか。



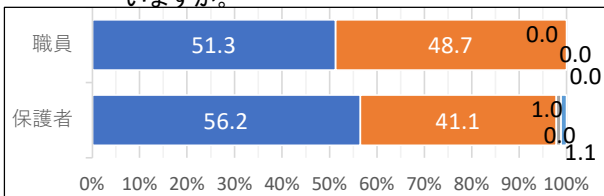
4-(2) 園は、健康管理・感染症等に関し、適切に対応していると思いますか。



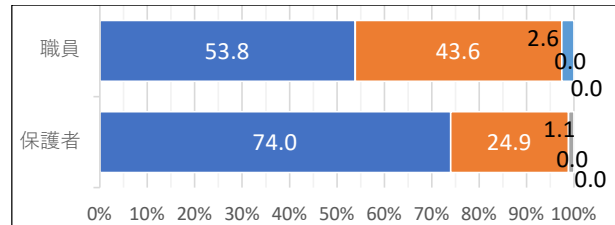
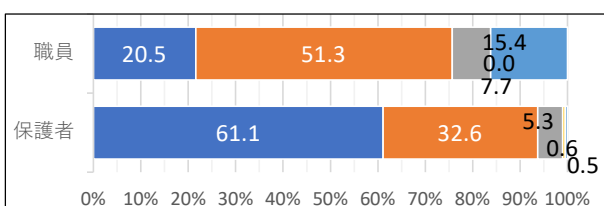
5-(2) 給食は、季節感ある献立内容だと思えますか。



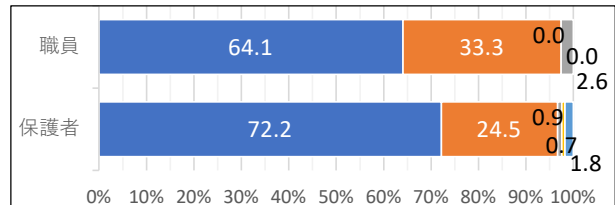
6-(1) 園や各クラスの様子などは、「園だより」や「クラスだより」、ホームページやFacebookなどを通じて、わかりやすく伝えられていると思いますか。



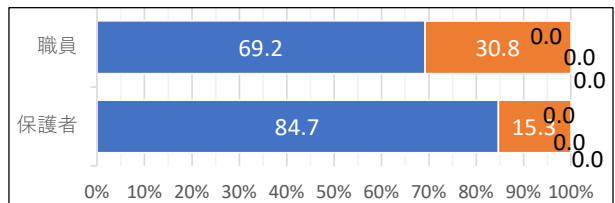
6-(3) 困ったことや気になることがあった時に、気軽に園や担任に相談したり尋ねたりできますか。



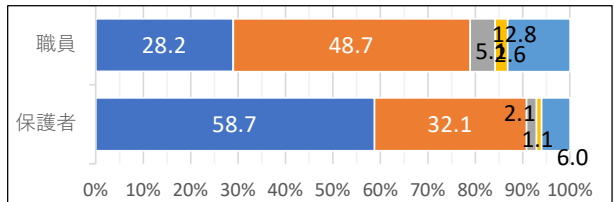
4-(1) 園は、地震や火災、不審者等の問題に対し、適切に対応しようとしていると思いますか。



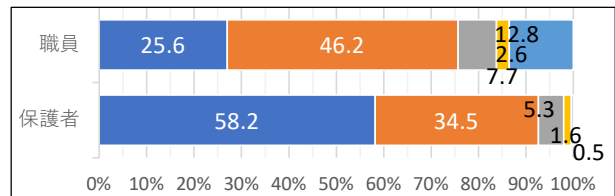
5-(1) 園では、野菜などの栽培を通して、子どもたちに食に対する興味・関心を高めようとしていると思いますか。



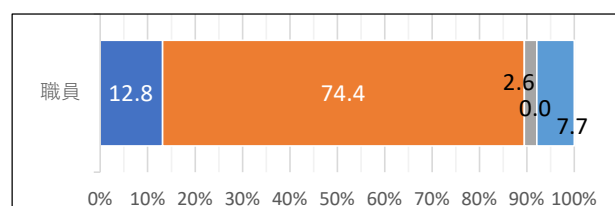
5-(3) 給食では、子どもたちが落ち着いて楽しく食事ができるように心がけていると思いますか。



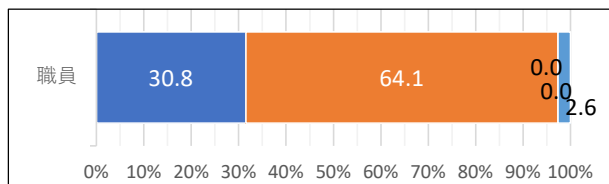
6-(2) 送迎時のお話や連絡帳などで、園や家庭でのお子さんの様子について情報交換がされていると思いますか。



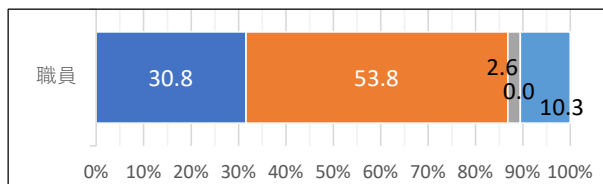
7-(1) 棟東村人権教育公開保育に向けて、園内研修を着実にを行い、子どもたちが主体的で生き生きとした活動ができるよう保育の質を向上させるとともに、職員の力量アップを図ることができたと思いますか。



7-(2) 日常の感染症対策を徹底するとともに園行事等の見直しを行い、安全安心な運営を行うことができたと思えますか。



7-(3) 経産省の省エネルギー化推進事業により古くなった空調機器を省エネのものに更新するとともに、園児・職員ともに過ごしやすい環境を作ることができたと思えますか。



8-(1) 保護者自由記述 (抜粋)

- いつもいろんな遊びなど工夫してくださっていて、月ごとに更新される写真で園での様子が知れて楽しそうな表情にとっても嬉しくなります。日々、ありがとうございます。早くコロナが落ち着き、もっと園での行事や活動に両親二人で参加できたり、クラスのご両親とも交流できる機会が増えたらいいと思います。
- いつも本当によくしていただいてありがとうございます。本人の様子や先生たちの対応からしっかり保育してくださっているのが伝わってきて、安心してお願いできています。これからもよろしく願いいたします。
- 手がかかり、先生方にはご迷惑をおかけしていることばかりな様子の我が子ですが、園での様子を隠さず教えてくれて、先生方も工夫して向き合ってください感謝しかありません。その中でたくさんの行事や活動を通し、経験する機会を設けてくださり、ありがとうございます。
- 行事予定が変更になった際、園だよりでの連絡は助かりますが、アプリのカレンダーも変更していただくとありがたいです。
- クラスだよりはアプリ配信でもよいと思います。(写真もカラーで見やすくなると思います。)印刷の方が楽ならそれで大丈夫です!
- 園庭遊びの時に子どもたちが自由に遊び回るが、園庭の端っこや遊具の死角、植木などの人目につきにくい場所に配慮して気をつけてほしい。
- クラスの入り口に予定や持ち物を書いてくれているが、たまに口頭で持ち物を言われることがある(実際忘れ物をした経験あり)言った言わないとなるので、キッズノートの活用がよいと思います。
- きッズノートのアルバム→写真のUPをもう少し早く、タイムリーに見れるとありがたいです。
- こども園になったので、幼稚園のようにひらがな等のお勉強的な時間を増やしてほしいです。

8-(2) 職員自由記述 (抜粋)

- コロナ対策をおこないながら、様々な行事を行うことができた。子どもたちの季節感を味わわせたり楽しませたりする行事ができてよかったと思う。
- 園内研修は昼休み時間では連絡帳の記入や話し合いがあったりし、毎日忙しく過ごすので、参加が難しかった。
- 行事が重なっている時期の見直しが必要。
- リスクマネジメントの定期的な実施(リスクの共有と改善)
- 本園の運営事項は園側からの保育の質向上と職員の力量アップは職員の意識の主体性が大切だと思う。

4 自己評価結果のまとめ

○11月18日に予定されている榛東村人権教育公開保育に向けて、園内研修を着実にを行い、子どもたちが主体的で生き生きとした活動ができるよう保育の質を向上させるとともに、職員の力量アップを図る。

榛東村人権教育公開保育自体は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、園での公開保育は中止となってしまったが、これに向けて実践してきた内容を中心にまとめ、全体発表を行うことができ、好評であった。

園内研修としては、群馬パース大学福祉専門学校都丸副校長をお招きし、園内の保育研究会を2回実施し主体的な保育の実践に向けての研究を深めた。併せて、一人ひとりの子どもたちを大切に保育の在り方についても研修を深めることができた。

ただ、準職員については、お昼寝の時間を活用しての研修を数回実施しただけになってしまったので、定期的な園内研修の実施を行って必要がある。

職員アンケートでは、87%の職員が肯定的に受けとめているが、「わからない」と回答した早番遅番や午前中だけの職員にも研修に参加できる仕組みを考えていく必要がある。

評価 B[○]

○日常の感染症対策を徹底するとともに、園行事等の見直しを行い、安全安心な園の運営を行う。

第7派や第8派のピーク時には、本園も登園自粛要請を行うなど、厳しい状況が続いたが、職員の献身的な消毒等の努力や保護者の協力もあり大きな広がりにはならず、乗り切ることができた。保護者アンケート及び職員アンケートでも、約98%の方が満足・概ね満足と回答しており、感染症対策や行事の工夫改善を図ることができたと考え。

評価 A

○経産省の省エネルギー化推進事業に応募し、古くなった空調機器を省エネのものに更新するとともに、園児・職
約20年使用したエアコンを最新の省エネルギー型のエアコンに更新することができた。経産省の省エネルギー化推進事業にも応募・採択
され、業者との契約や工事も順調に行うことができた。
機器そのものも快適に運転でき、数十年に一度の大寒波に見舞われた際も、園内では快適に過ごすことができたと考える。

評価 A

5 総合評価 A'

令和4年度においても、本園の教育・保育に関する取組状況は概ね良好であったと考える。

特に、2年間継続して取り組んできた「榛東村人権教育公開保育」については、公開保育こそできなかったものの、これに向けて日々取
り組んでいく中で、ドキュメンテーションの作成や講師の先生をお呼びしての園内公開保育の実践など、本園初めての取組に先生方も真剣
に学ぶ姿が見られ、保育の質の向上に大いに役立ったと思う。

まだまだ新型コロナ等の感染症対策も充実させていく必要があるし、また、20年以上経過した施設整備も行っていかななくてはならない
が、子どもの育ちを全力で応援する姿勢を基本として、今後も取り組んでいきたいと思う。

特に、最近増加傾向にある「気になる子」への対応も職員全員で確認し、共通理解のもとに支援の手立てを考える必要がある。そのため
の研修をさらに充実させていきたいと考える。